

会員一覧

団体会員(順不同)

亀山市
亀山市民議会
亀山市教育委員会
亀山市農業委員会
亀山市自治会連合会
亀山ライオンズクラブ
亀山ロータリークラブ
亀山商工会議所
(一社)亀山青年会議所
亀山青年会議所シニアクラブ
鈴鹿農業協同組合亀山地区
三重茶農業協同組合
亀山市婦人会連絡協議会
亀山地区労センター
鉄道OB会亀山支部
(一社)亀山市観光協会
鈴鹿森林組合
(一社)三重県建設業協会亀山支部
亀山地区労働者福祉協議会

[19団体]

企業会員(五十音順)

(株)安全
(有)いとう弁当店
(株)エイチワン亀山製作所
NTNアドバンストマテリアルズ(株)
カメヤマ(株)
亀山瓦斯(有)
亀山急送(株)
(株)亀山ショッピングセンター
亀山製絲(株)
岸牛乳店
北伊勢上野信用金庫亀山支店
協同油脂(株)亀山工場
高圧昭和ボンベ(株)
好福堂
(有)小菅金物
三交興業(株)名阪関ドライブイン
(株)三扇
(株)ジェイテクト亀山工場
島内建設(株)
シャープ(株) 亀山事業所
昭和パックス(株) 亀山工場
白川建設(株)
(有)シラカワ
鈴鹿インター(株)
(株)スチールセンター亀山事業所
(株)セキデン
(株)大紀アルミニウム工業所亀山工場
(株)第三銀行亀山支店
(株)タクティー亀山物流センター
田島シルク(株)
中田運輸(株)
中部電力(株)鈴鹿営業所
東海労働金庫亀山支店
東洋電装(株)亀山工場
(株)栃木屋
(株)長田建材店
(有)ニシムラ
日東電工(株)亀山事業所
パナック(株)亀山工場
(株)百五銀行亀山支店
(株)ブラザチェーン
古河電気工業(株) 三重事業所
堀田建設(株)
(株)ホンダオート三重亀山店
マルミ化粧品店
(株)三重銀行亀山支店
三星電機商会
(株)ミヤガク中京(カメヤマドライバースクール)
(株)宮長
(有)むかい
(株)村山ガス
(有)保田ガラス店
柳河精機(株)亀山工場
山川運輸(株)
(株)ヤマシタコーポレーション三重事業所
(株)米津グリーンメンテ
リケンテクノス(株)三重工場
(株)菱電三重製作所

[58社]

担当コラム

リニア中央新幹線開業に向け、平成27年12月の南アルプスを貫くトンネル工事開始に続き、平成28年1月には始発・終着駅となる品川駅工事が着工されました。また、名古屋駅もリニア中央新幹線開業を見据えた整備方針が発表されました。工事着工のニュースは、まだまだ遠い先の夢の話と思っていたリニアが現実味を持って少しずつ近づいてくる事を実感します。

今後も、皆様により身近に感じていただけるように、更に興味を持っていただけるように、様々な活動に取り組んでいきますので、これからもご支援・ご協力をお願いします。

発行者:リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議

編集:リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議事務局(亀山市企画総務部企画政策室内) 〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地

TEL:0595-84-5123 FAX:0595-82-9685 E-mail:kikaku@city.kameyama.mie.jp



会長のあいさつ



リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議 会長

亀山市長 櫻井 義之

陽春の候、市民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、リニア中央新幹線につきましては、今年1月に品川駅で地下40メートルの掘削工事が始まるとともに、山梨県から長野県に連なる南アルプスの全長25キロにおよぶトンネル工事が着手されるなど、平成39年の東京・名古屋間の開業に向け、着実に前進しております。さらに、有人走行では世界最高速度となる時速603キロを記録し、ギネスブックに認定され、世界一の高速鉄道として注目されております。

当市民会議といたしましても、昨年11月にPRポスターを作成し、市内外へ、リニア中央新幹線亀山駅の実現をアピールするとともに、リニア鉄道親子学習会の開催や科学の祭典を通じて、次世代を担う子ども達が親子で楽しみながらリニアの仕組みを学習する機会を提供するなど、幅広い活動を展開しております。

一方、在来線につきましても、今年5月に開催される伊勢志摩サミットを契機として、関西本線、紀勢本線の鉄道需要がますます高まってくることが予想されることから、引き続き、利便性の向上に向け、IC乗車券サービスの利用エリアの拡大や、乗り継ぎ時間の短縮などを求める要望活動を実施してまいります。

現在のリニア中央新幹線の計画では、名古屋・大阪間が開業されるのは、約30年後の平成57年となっております。当市民会議では、リニア中央新幹線の全線早期開業と“リニア亀山駅”の実現に向け、関係機関と一致団結し、強力な推進活動を行ってまいりますので、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

LINEAR CHUO SHINKANSEN

リニア中央新幹線の概要

リニア中央新幹線は、東京から大阪までの約438kmを、わが国独自の技術である超電導リニアによって結ぶ新たな新幹線です。

世界でも有数の人口集積地域である三大都市圏を、超電導リニアにより新しいルートで結ぶリニア中央新幹線は沿線地域のみならず国全体に活力をもたらす国家プロジェクトです。

リニア中央新幹線が開業すれば、東京・名古屋間を40分、東京・大阪間を67分で移動することができます。それは、単なる経済波及効果に留まらず、国土の構造を変え、日本の国際競争力を強化し、日本人のライフスタイルをも変えるきっかけとなることが期待されています。

建設線	中央新幹線
区間	東京都・大阪市
走行方式	超電導磁気浮上方式
最高設計速度	505km/時
建設費	9兆300億円

リニア中央新幹線の現状

平成39年に先行開業を目指すリニア中央新幹線の東京・名古屋間において、平成26年10月17日、JR東海は国土交通省から工事実施計画の認可を受け、12月17日に工事を着工しました。

そして、平成27年12月18日、南アルプスを貫くトンネル工事の起工式が開かれ山梨、静岡、長野3県にまたがる全長25kmのうち、山梨工区の7.7kmの工事が本格的に始まりました。

また、始発・終着駅となる品川駅工事の起工式が平成28年1月27日に行われ、駅工事に着工しました。

リニア中央新幹線は、建設段階に入り着実に前進しています。



リニア中央新幹線のルート

リニア中央新幹線の整備区間のうち、名古屋・大阪間については、未だ中間駅やルートが確定していない状況です。

リニア中央新幹線の効果を十分に発揮するために、早期に中間駅やルートを決定し、東京・大阪間が全線早期開業することが求められており、大阪府や大阪市、関西経済連合会などが集結した「リニア中央新幹線全線同時開業推進協議会」が昨年度実施した『リニア中央新幹線についての意識調査』（※）の結果によると首都圏・関西圏の方の約9割が、同時又は早期の大阪開業を希望しています。

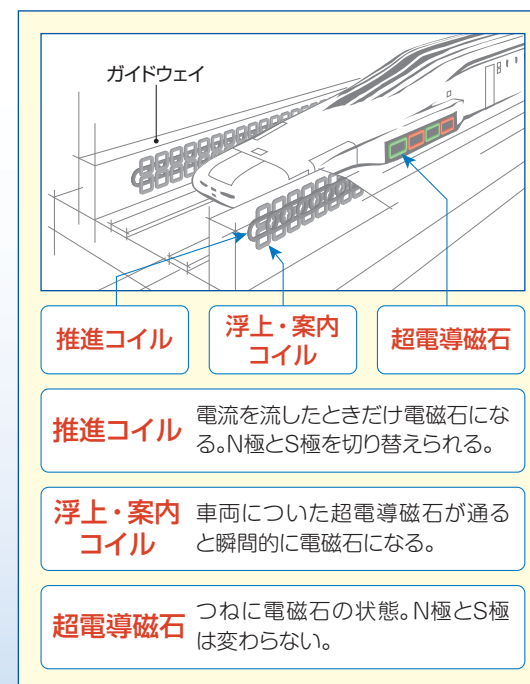
県内市町等で構成する「リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会」や、三重・奈良両県のリニア中央新幹線期成同盟会と経済団体による「三重県・奈良県 リニア中央新幹線建設促進会議」でも、国等への要望活動や、国会議員の方々との意見交換が行われ、三重・奈良ルートの早期確定をアピールしました。

（※）調査方法：WEBアンケート調査 期間：平成27年1月22日～2月10日 回答者数：1103人

進化を続けるリニア



Q & A



リニア中央新幹線とこれまでの新幹線、何が違う？

従来の新幹線のように、車輪とレールを利用して走るのではなく、超電導リニア（以下リニア）は、磁石の力で浮いて走ります。

超電導とは…特別な金属を一定の温度まで下げ、電気が流れやすくした状態のことを「超電導」状態といいます。「超電導」状態の金属で作ったコイルに電気を流すと、その電気はコイルの中を半永久的に流れ続け、「超電導磁石」となります。リニアの車体にはこの超電導磁石が組み込まれています。

リニアはどうやって運転する？

運転士による運転ではなく、コンピューターが制御して運転します。

リニアが浮いたり、進んだりするしくみは？

リニアが走るガイドウェイのコイルには、電気が流れると磁石になる性質があり、車両の超電導磁石とコイル（磁石）が押し合ったり、引き合ったりする力を利用して、リニアは浮きながら前に進みます。超電導磁石とコイル（磁石）の力で、超電導リニアは10cm浮き上がって走ります。

リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議とは

当市民会議は、昭和42年5月に、国鉄複線電化の推進を目的に、亀山市長を会長とした市民各会代表による「国鉄複線電化推進亀山市民会議」として発足しました。平成4年にはリニア中央新幹線の早期実現と市内停車駅誘致を活動目標に追加し、平成13年から平成18年までは市民対象のリニア試乗会を開催するなど様々な取り組みを展開してきました。

今後も「LINEAR TO KAMEYAMA ～新たなステージ、夢から現実へ!!」を合言葉にリニア中央新幹線の市内停車駅誘致、亀山を中心とした複線電化の促進を目指し、関係機関と連携した強力な推進運動を展開していきます。

年 表	
昭和42年	「国鉄複線電化推進亀山市民会議」として発足
昭和62年	国鉄の民営化に伴い、「JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更
平成4年	複線電化推進活動にリニア誘致を位置づけ
平成6年	「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更
平成13年	市民対象のリニア試乗会を開始(～平成18年)
平成21年	「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更

平成27年度の活動状況

総会・講演会 7月15日(水)

亀山市文化会館において、平成27年度の総会を開催しました。総会では、昨年度の事業報告や平成27年度の事業計画が承認されました。

総会終了後は、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社の副主任研究員水谷洋輔氏を講師としてお招きし、「リニアの動向と地域づくり」と題し、ご講演をいただきました。



総会

リニア・鉄道親子学習会 8月8日(土)

今回の親子学習会は、70名を超える申込の中から抽選で20組40名の方に参加いただき、名古屋市のリニア・鉄道館と電気の科学館を訪れました。

リニア・鉄道館ではJR職員による超電導リニアの仕組みの説明を聞いた後、車両の見学や鉄道の歴史を学びました。電気の科学館では、電気や磁力についてさまざまな体験ができました。親子で一緒に見て触れて、楽しみながら学習する機会となりました。



学習風景



車両見学



でんきの科学館

青少年のための科学の祭典 11月14日(土)



作成風景



模型の展示

青少年のための科学の祭典において、工作ブース「木製リニアカーをつくってみよう!!」を出展しました。模型の展示や木製リニアカーの作成を通して磁力による超電導リニアの浮上の原理を楽しみながら学ぶことができました。

中央要望 2月9日(火)・10日(水)

リニア中央新幹線の市内停車駅誘致、複線電化の促進を求め、国や関係機関に対して要望活動を実施しました。

〈要望内容〉

- リニア中央新幹線
 - ・三重・奈良ルートによる全線早期開業
 - ・亀山市への停車駅の設置 など
- 複線電化
 - ・亀山駅を中心とした複線電化の早期着手
 - ・IC乗車券サービスの利用可能エリアの拡大 など



要望活動

PR活動

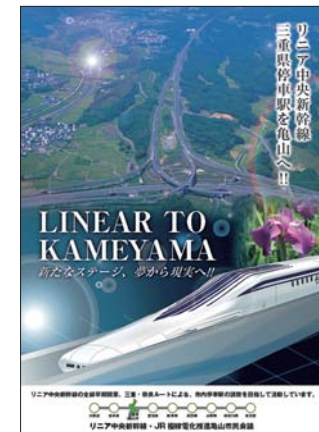
より多くの市民の方に、当市民会議の活動を理解いただくため、イベント等を通じて、PRグッズの配布や、PRカレンダー、会報誌を発行し、関係施設への配布・設置等を行うなど、PR活動を行っています。



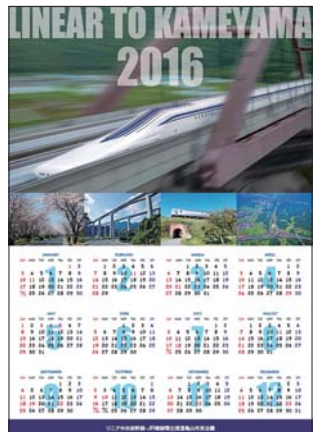
10月17日(土)、亀山「駅」サイティンクミ二まつりで、リニア中央新幹線や当市民会議のパネル展示を行いました。



オリジナル総会記念品(ゲルボリシート)を作成しました。



新たに、PRポスターを作製し、市内外の関係施設へ配布しました。



2016年 PRカレンダー

複線電化について ～もっと乗って!もっと便利に!～

市内を運行する関西本線は、昭和57年に名古屋・亀山間が電化され、それ以降、一部区間で複線化されるなど利便性の向上が図られ、現在、関西本線(名古屋～亀山間)については、通勤時間帯で最大1時間4便の運行が行われ、昼間時間帯も快速列車の運行により乗車時間が約1時間に短縮されています。

しかし、近年、複線電化工事は進んでおらず、紀勢本線についても、県内全線が依然として単線・非電化のまま運行が行われています。

本線区は、名古屋・大阪間を最短距離で結ぶ重要な線区であり、通勤、通学の交通手段として、また、産業面や観光面からも重要な鉄道で利便性の向上が強く求められています。

複線電化の実現や、在来各線の利便性の維持・向上にはより多くの方に鉄道を利用していただくことが大切です。当市民会議では、「もっと乗って!もっと便利に!」を合言葉に、鉄道利用の促進を図り、JRの利便性の向上に向けた取り組みを積極的に進めています。

